

2018年4月23日

日本分光学会 関西支部臨時会議  
2019年度分光学会年次講演会 打合せ 議事録

開催日時： 2018年4月18日（水）15:00～16:15

開催場所： 京都大学化学研究所 バイオインフォマティクスセンター 2F CB-217 教室

出席者：長谷川健（京大）、水谷泰久（阪大）、蓮尾昌裕（京大）、中田靖（堀場）、  
右近寿一郎（右近工舎）、村木直樹（東レリサーチ）、笠原俊二（神大）、森田成昭（大阪電  
通大）、森澤勇介（近大）（敬称略）

## 議題

### 1. 年次講演会開催期間

- 会期を平成31年5月14日（火）～16日（木）の3日間に決定した。前日の月曜日を会場設営等に充てる。（会場費は無料）
- イノベーション研究会と一体化させて開催し、概ね2017年度の早稲田大学でのプログラムと同様のパターンで行う。すなわち、国際会議は前半に配置し、2日目の夕方に“分光俯瞰講義”を実施し、そのあと懇親会とする。3日目は企画物とイノベーションを並行して開催。
- 懇親会は黄檗プラザ内レストラン「きはだ」（幹事会で見学）を計画、参加費を取ることを提案する。一般2,000円、学生無料

### 2. 開催場所

- 京大化研 CB-207, 215 および 217 の3教室（予約済）  
参加した、幹事にて3教室の場所を確認し CB-215 を見学した。

### 3. 国際シンポジウムの準備

- テーマは“Frontier of Surface Analysis by Advanced Vibrational Spectroscopy”（担当：長谷川）
- 民間財団への予算申請：現在、1件申請中。テーマにあった助成財団を今後も情報共有し、順次応募する。
- ランチョンセミナー等、企業への協力要請：11月30日の幹事会で概要が報告できるよう準備する。広告・展示・ランチョンの3点セットで16万円（賛助会員は12万円）というパッケージで依頼するのが一つの型。展示のみの場合、3日間で9万円（賛助会員は6万円）。トータルで20社ほど集めたい。
- 去年の実績リストを山縣さんに依頼して受け取り、関西支部幹事と共有し、分担を決めて早めに依頼を開始する。（担当：長谷川）
- 外資系企業は予算年度が1月に始まるので、9月までに依頼を社内で検討してもらう必要があることに注意。その他の場合でも遅くも11月までには確実に進める。

- ランチョンセミナーは、2会場×3日間で6企業が標準。ただし、1回の開催に2企業を詰め込めば、延べ数を12企業にまで増やすことが可能。
- 講演者の決定と依頼の時期：国外4名，国内8名
- ホテルが繁盛期なので、早めに招待講演者の分を予約で押さえる（担当：長谷川）。

#### 4. その他

・今後の幹事会のスケジュール

a. 7月13日 関西光科学研究所 幹事会・講演会・見学会

b. 10月ごろ 幹事会

- 11月30日（金）に笠原先生が神戸大学で開催する予定。

c. 3月上旬 幹事会

- 森澤先生が日程案を考えてメールで提案する。

- ・ しもあかたかふみ下赤卓史氏（京大化研）を、新たに関西支部幹事に加えることを承認した。